

GLOBAL MARKET REPORT

---

# SINGAPORE

REPORT BY  
MIHWA GEN  
Founder and CEO



AUGUST 2022

SPRINK

WE BRING THE WORLD TO YOU

# ABOUT

スプリック株式会社は一社でも多くの企業が世界の市場に飛び出し、ビジネスを展開することを願っています。

グローバルマーケットレポートは特定の国または地域にターゲットを定め、最新の情報を提供すると共に、その国・地域を実際に目で見て、現地の人々と話した内容を基に新たなビジネスの提案を行うものです。

皆さんのビジネスがより多くの国に住む人々に喜ばれますように、お手伝いができたら幸いです。

SPRINK株式会社  
CEO 元 美和

本資料は一般的な情報提供を目的とするものであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。関連する法令等の解釈を行ったものではなく、利用者が本資料を利用をした事による結果については、SPRINK株式会社は一切の責任を負うものではありません。マーケットレポートやビジネス提案に関しては作成者の個人的な見解に基づくものですが、本レポートに掲載されているデータ等については出典を明らかにしていますので、詳細をご希望される方は巻末のReferenceをご参照ください。また、書面によるSPRINK株式会社の事前承認なしに、第三者への配布・引用・複製を行うことはお断りしております。



WE BRING THE  
WORLD TO YOUR  
BUSINESS TO  
CREATE NEW VALUES

# SINGAPORE AT A GLANCE

シンガポール早わかり

面積  
726km<sup>2</sup> (東京23区と同程度)

福岡 (FUK) ⇄ シンガポール (SIN)  
直行便 SQ656/SQ655 6h35m  
週2便 (冬から週3便に増便) ※2022.7

国連加盟国  
アジア太平洋経済協力(APEC)本部  
ASEAN原加盟国  
WTO加盟国 など多数

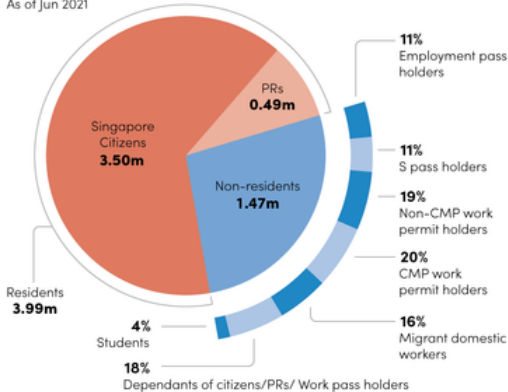


隣接国  
北側 マレーシア (橋により接続)  
南/東/西側 インドネシア

<https://www.hvs.com/article/9089-market-snapshot-asia-pacific-2021>

## TOTAL POPULATION 5.45M

As of Jun 2021



Infographic: Rofa Estrada  
Source: Department of Statistics, Ministry of Manpower  
Numbers may not sum up due to rounding.



## GDP Per Capita (PPP, Int\$, 2017 Constant Prices): All Countries

Latest Data

Luxembourg	131,256
Ireland	115,807
Qatar	109,401
<b>Singapore</b>	<b>106,969</b>
Brunei Darussalam	89,740
United Arab Emirates	77,182
Switzerland	75,977
Norway	75,182
Taiwan	71,244
United States	67,651

<https://www.worlddeconomics.com/Wealth/Singapore.aspx>

人口 545万人 (2021年6月)

平均年齢 42.5才

新型コロナウイルスの影響で非居住者の割合が大きく落ちたが、永住権保持者の新規取得数も減り、データ採取を始めた1970年以降初めての大幅な減少となった。

一人当たりGDP(購買力平価)

106,969USD 世界4位

日本は44,744USD

# BREAKING DOWN THE SINGAPOREANS

## シンガポールの人々

**"LIFE IS NOT JUST EATING, DRINKING, TELEVISION AND CINEMA...THE HUMAN MIND MUST BE CREATIVE, MUST BE SELF-GENERATING; IT CANNOT DEPEND ON JUST GADGETS TO AMUSE ITSELF."**

### **ETHNICITY 民族性**

中華系 76% マレー系 15% インド系 7.5% その他 1.5% (2019年Gov.sg)  
4言語を公用語としていますが、近代シンガポールの建国時に英語を共通言語としています。

### **AGE 年齢**

平均年齢はこの10年で上昇しており、2021年には42.5歳となっています。2030年には65歳以上が23.8%の割合となると政府は予測すると共に、国民間の結婚率の減少により将来的な人口減少が危惧されています。

### **LIVING AREA 生活地域**

シンガポールは5つのCDC(Community Development Councils)に分かれており、9割以上がCentral CDCを生活圏としています。その他北西部のWoodlandsや漁業に力を入れている東南部のMarine Paradeにも生活圏が広がってきています。

### **LIVING COST 物価**

月収の中央値が43万円(2021年)のシンガポールでは家賃を除いた一人当たりの月間コストが約12万円程(NUMBEO調べ)。日本と比較して唯一安いと感じるのは交通費でした。



# SINGAPORE ECONOMY

## シンガポールの経済

製造業 26.4%  
サービス業 73.6%



DOS (<https://www.singstat.gov.sg/modules/infographics/economy>)

JETRO ([https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Reports/01/40ae8bbf70797fe9/20210040.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/40ae8bbf70797fe9/20210040.pdf))

### スマートネーション構想に基づく6つの国家戦略プロジェクト

国家デジタル身分証明 (NDI)	行政サービスだけでなく、銀行やヘルスケアなど民間も利用可能な利便性の高い電子身分証明システムの構築 (マイ・インフォ (MyInfo))
電子支払い (キャッシュレス化)	キャッシュレス社会の実現に向け、電子支払いの普及拡大のための基盤整備 (ペイナウ (PayNow)、共通QRコード (SGQR))
スマートネーション・センサー・プラットフォーム (SNSP)	国内全ての街灯にセンサー、カメラを設置し、スマート街灯化。天候、交通、混雑などを収集、一部データを民間にも共有
スマート都市モビリティ	公共輸送に無人自動車の導入を視野に、無人自動車の実証実験を実施
モーメント・オブ・ライフ (国民目線の行政サービス)	政府機関の組織を超え、国民目線での電子行政サービスの提供
電子行政サービスの統一プラットフォーム (CODEX)	政府機関のデータ共有を促進し、データを一元管理へ。2023年までに政府システムの大半を商業クラウドに移行へ



シンガポール政府系STエンジニアリングがセントサ島で実施の無人シャトルバスの実証実験 (ジェットロ撮影)



フードコートなどで使用が始まった電子決済の統一規格「シンガポールQRコード (SGQR)」(ジェットロ撮影)

# BUSINESS OPPORTUNITIES

## ビジネスチャンス

国家主導の工業団地にはすでに多くの日系製造業が進出しており、金融関係も東南アジアの拠点としてシンガポールにアジア本部を設立するケースが多く見られる。(日本ASEANセンター)

<https://www.asean.or.jp/jpn/asean/know/country/singapore/invest/industrialestate/index.html/index.html@searchterm=None.html#documentContent>

また、シンガポールにおける日本企業の進出をサポートする日系企業も多数あり、人材採用や法的な業務、物流などを支えるパートナーを探すこともできる。(シンガポール日本商工会議所)

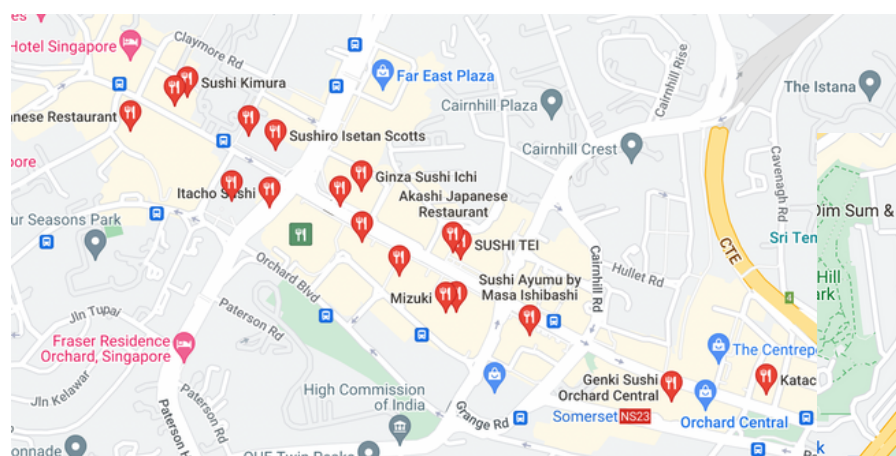
<https://www.asean.or.jp/jpn/asean/know/country/singapore/invest/industrialestate/index.html/index.html@searchterm=None.html#documentContent>

しかし、経済成長はそのダイナミックさを失い、人口減少も深刻になる中、これからのシンガポールでは新たな分野での進出が見込まれるのではないだろうか。

2022年にシンガポールを訪れ、現地のビジネスパーソンや学生との対話を通じて感じた商機を以下の3分野にて提案します。

- ①ICT分野 ②観光分野 ③食品・農業分野 ④人材分野

上記提案内容について具体的な展開をご希望の企業は弊社までお問い合わせください。



←Orchardというショッピング街の1.3kmほどの通りに並ぶ数多くの寿司料理店  
Google map調べ



Chinatownに並ぶ数多くの寿司料理店→  
Google map調べ

今、シンガポールには多くの日本料理店が存在し、特に高級寿司店が次々とオープンしている。

シンガポールで働く某外資系投資会社の人によると、日本料理店だけでなく日本の食材や飲料が帰る店も充実しており、新たな飲食関係が進出しようとするすでに飽和状態にあるとのこと。しかし日本文化への関心は依然として高く、日本で時間を過ごしているかのような雰囲気を感じられる場所に需要が高まると予想。

また、シンガポールには世界ランク常連の大学が2校あり、人材のレベルの高さに他国からも関心が寄せられる要因となっているが、Nanyang Technological University (NTU)に通う学生との対話の場では日本に就職を希望する学生も多く、理由としては「就職することで日本に住む権利を得たい」というものが多かった。



南洋理工大学(Nanyang Technological University)  
THEランキング46位 (2022年)

# 商機 1 - ICT分野



リー・シェンロン首相は2014年11月、スマートネーション構想の開始を発表し、デジタルクラウド化、無人化、センサーによるデータ収集、電子化を国家戦略として進めています。

その中でも住宅や国民の生活にスマート化を浸透させることが大きな関心となっています。シンガポールでは80%以上の人々がPublic Housingと呼ばれる住宅開発庁により建設される団地に住んでおり、政府は住宅を「エコ化」「スマート化」することで国民全体の生活の質を向上させる施策をとっています。

例えば一人当たりのCO2排出量が中国やイギリスよりも多くなっている一つの要因としては年間の大半が30度を超えることによるエアコンの使用が考えられます。暑さや風向きを感知したり、無人の時には電気を消したりすることで実際の消費削減に加え、そのような住宅に住むことで環境について考える行動をするようになります。

カメラの設置によるお年寄りの見守りや、ゴミ収集の効率化など、生活を豊かにしてくれる機能も備わるスマート団地は多くの関心を集めており、また、都市集中型の住居環境を変化させていくこととなるでしょう。

モビリティや公衆衛生など日本の得意とする分野はもちろん、オートメーションテクノロジーやAI、またはサイバーセキュリティなどの技術を持つスタートアップなどの進出も望めるかもしれない。

#### 参考記事

CNN "Singapore is building a 42,000-home eco 'smart' city"  
<https://edition.cnn.com/style/article/singapore-tengah-eco-town/index.html>

National Climate Change Secretariat Singapore  
<https://www.nccs.gov.sg/singapores-climate-action/singapore-emissions-profile/>

# 商機 2 - 観光分野

植民地時代からの建物



チャイナタウン



近代的な金融都市（ベイエリア）

中心地を離れたエリア

シンガポールには英語圏であることから近隣国のマレーシアやインドネシアを含む多くの観光客や就労者が訪れます。新型コロナウイルスの影響で減少した観光客も、2022年上半期は前年度の12倍である150万人が訪れており、年間の数字は4~6百万人になるだろうとされています。

中心地には多くの観光地が既に存在していますが、面積の狭さもあってかとても忙しく、新たに建っているレストランやホテルには「日常の喧騒から逃れる」空間が求められているようです。"Obsessed with Japan (日本狂)"と言われるほど日本文化好きが多いシンガポール国民が日本によく訪れ、京都などのゆったりとした時間の流れを求めるのにもそういった背景があるのかもしれませんが。飲食店だけでなく日本に来た空気を醸し出す観光施設などに需要があるように感じました。

都市機能や主な観光地はセントラルエリアに集中していますが、シンガポールに住む外国人がYoutubeやInstagramで配信する「生の声」を頼りに中心地から少し足を伸ばし、これまでの王道な観光と違う場所を楽しむ観光客も増えています。

Tiong Bahru (チオンバル)はシンガポールでも古い住宅が並ぶエリアですが、近年ではカフェや雑貨、ヨガスタジオなどが増え、趣味を持つ若者が訪れる街となってきています。実際に訪れると古い住宅の街並みはそのままに、しかし道路を隔てて近代的な集合住宅が次々と開発されている様子が伺えます。

## 参考記事

The Business Times "Our Japanese Obsession"  
<https://www.businesstimes.com.sg/lifestyle/feature/our-japanese-obsession>

Visit Singapore.com  
<https://www.visitsingapore.com/see-do-singapore/places-to-see/tiong-bahru/>



# 商機 3 - 食品・農業分野

2030年までに食料自給率を30%に



<https://www.psd.gov.sg/challenge/ideas/deep-dive/strengthening-singapore-s-food-security>

農地が国土の0.9%で、食料は9割を国外から輸入しているシンガポールでは、世界の人口ぞうかや昨今の世界情勢を受け、2021年の2月に政府は2030年までに食料自給率を30%に到達させる政策を発表しました。

この5年間で144億円ほどの研究開発費を投下し、都市型農業などを推進する準備を整えてきました。

大きな計画としてはまず、Lin Chu Kangに390haのハイテクアグリゾーンを作り、効率性とサステナビリティの高い農業生産をおこなっていきます。

漁業においてはSouthern Waterfrontを開発し、養殖による生産量の増加を計画しています。

また、アグリフードテックシステムのパイロット地としてAgri Food Innovation Park (AFIP)の開発も進んでいます。

常に食糧危機の不安にさらされていたシンガポールですが、パンデミックや世界情勢などを目の当たりにし、本格的に予算を投下し、食料自給率の向上に乗り出しているようです。

今後は市民が「自分で食べるものは自分で育てる」という意識を持ち、また、農業を担う人材を育てていく環境づくりが課題となってきます。

## 参考文献

Singapore Food Agency  
<https://www.ourfoodfuture.gov.sg/30by30>

Strengthening Singapore Food Security  
<https://www.psd.gov.sg/challenge/ideas/deep-dive/strengthening-singapore-s-food-security>



# WHAT WE OFFER

## スプリングの事業

企業の海外展開におけるあらゆる段階に寄り添い、海外事業の成功に貢献します。製品やサービスのグローバル市場展開、国際人材の採用、社員の国際化をお手伝いさせていただきます。私たちと一緒に、日常に「世界」を取り入れてみませんか？

Global Market Reportの発行



調査報告書

オンライン/現地調査実施または同行(通訳)

海外事業を具体的に想定していない

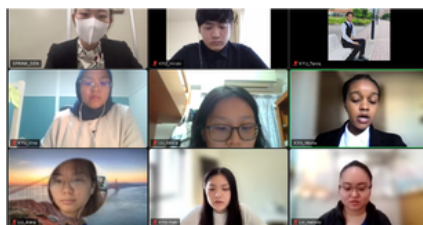
海外展開を検討  
売りたい製品やサービスがある

海外におけるネットワークや営業、社内の人材など困り事がある

現状の海外事業が成功しているため次の展開を考えている



海外営業・コミュニケーション研修



国際学生研修・人材紹介

グローバルブランディングとしてSDGs実践の社内ファシリテーションもおこなっています。



# EXTRA

おまけ



NTUでの交流会の様子

シンガポールのチャンギ国際空港に飛行機が降り立ったのは午前1時。帰りの飛行機も午前1時半出発。24時間空港のおかげで移動日にも関わらず丸一日行動ができるという効率的な時間帯での滞在でした。

入国前から、コロナウイルスの水際対策によるものもありましたがシンガポール滞在で便利なアプリをいくつかインストールし、現地で使えるようにするだけでスムーズに行く仕組みを実感。例えばMyICAではアライバルカードを事前登録したり、GrabやTADAなどのタクシーアプリを入れることで現地での移動がとても楽になったり。レストランの注文もQRでメニューを読み取り、そのまま決済するパターンも多く、便利さを感じるとともにどれだけの情報を2日間の滞在で提供しているのか・・・と恐ろしくもなりました。

出会った全ての人々がホスピタリティに溢れ、国民の民族構成が複数あることから来ているのか、他文化にも寛容且つ関心がある様子が伺えました。

日本食の多さにも驚きましたが、日本文化を生活に取り込むほど日本に関心を寄せるシンガポール国民が若い層（私が話したのは20~30代）に多いことに驚きました。

一方で政府主導の開発や生活介入が色濃く見られ、発展に必要だと感じながらも生活者が誘導されているような感覚も受けました。

とはいえ、都市の発展や人材能力の高さ、そして何より世界から人が集まる場所であるからこそ、世界の企業が投資しさらに発展してきた国だと改めて思いました。今後どのように変化していくのか楽しみに、また近いうちに訪れたいと思います。

# REFERENCE

## 出典

### 出現順

- ・ 外務省シンガポール共和国基礎データ  
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/singapore/data.html>
- ・ Department of Statistics Singapore  
<https://www.singstat.gov.sg/>
- ・ 日本貿易振興機構シンガポール事務所  
シンガポール概況と日系企業の進出動向  
[https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Reports/01/40ae8bbf70797fe9/20210040.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/40ae8bbf70797fe9/20210040.pdf)
- ・ Times Higher Education  
World University Rankings 2022  
<https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings/2022>
- ・ 日本貿易振興機構アジア経済研究所出版  
久末 亮一 著  
転換期のシンガポール——「リー・クアンユー・モデル」から「未来の都市国家」へ——
- ・ National Population and Talent Division  
Overview  
<https://www.population.gov.sg/our-population/population-trends/overview>
- ・ CNN "Singapore is building a 42,000-home eco 'smart' city"  
<https://edition.cnn.com/style/article/singapore-tengah-eco-town/index.html>
- ・ National Climate Change Secretariat  
Singapore's Emissions Profile  
<https://www.nccs.gov.sg/singapores-climate-action/singapore-emissions-profile/>
- ・ The Business Times  
Our Japan Obsession  
<https://www.businesstimes.com.sg/lifestyle/feature/our-japanese-obsession>
- ・ Visit Singapore.com  
<https://www.visitsingapore.com/see-do-singapore/places-to-see/tiong-bahru/>
- ・ Singapore Food Agency  
<https://www.ourfoodfuture.gov.sg/30by30>
- ・ Strengthening Singapore Food Security  
<https://www.psd.gov.sg/challenge/ideas/deep-dive/strengthening-singapore-s-food-security>

# GLOBAL MARKET REPORT

---

**SPRINK CO., LTD.**

## GOT ANY QUESTIONS?

メールにてお問い合わせください

DON'T BE SHY! E-MAIL US AT  
[INFO@SPRINK-CO.COM](mailto:INFO@SPRINK-CO.COM)

---

**AUGUST 2022**

SPRINK